



せんしんばんくのかば
千辛萬苦之場

上田の湯 別府市

市指定史跡（旧宅）

昭和 43 年 1 月 29 日指定

はたご 旅籠 若彦の離れ屋敷にあった、土蔵造の木造 2 階
どぞうづくり
建築である。1 階は 8 畳 1 間、2 階は 6 畳 1 間からな
り各階共に南側に縁が設けられている。建築は江戸時

代後半と推定される。昭和 57 年（1982）、老朽化したので旧材を出来るだけ利用して、現在地に移築した。慶応元年（1865）、長州藩士井上聞太（馨）が一時潜伏した場所である。井上は後に来別して「千辛萬苦之場」と揮毫した。昭和 8 年（1933）市長平山茂八郎が傍らに記念碑を建立した。

（入江 秀利）